京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金一圓▲號外特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太

印刷人 松久神一郎

京城西署西小門通(電話六六三)

發行所 京城新報社

寄書

寺内子と常陸山

水原虎洞生

今回京城に二個の名士を迎へんとす東部の新統監常陸山は一行と共に二十三日を以て入京し新統監寺内子は來月初旬を以て既任披露の爲め渡來せんとす寺内子と常陸山とを同一視するは甚だ奇にして聊か兩者に對し氣の毒ならずとせず。

一つは今名赫々たる武門の長者にして方今日本一流の政治家たるもの一つは角觝界の覇者日の下開山にして各其經歷を異にし現在を別にす其差山を以て海に比するの觀なきに非るも猶類分相似ずして而も相似たる點なしとせず。

寺内子は長州の產常陸山は水戸の出共に維新改革の策源地として勤王の先驅として相似たり其祖先に元就公を戴き義公の流れを汲び稍其時代を異にするの嫌あるも其人となり相異るなし一つの敬親公松陰先生有るに對し他は烈公東湖先生を有す。

寺内子常陸山共に滿々たる覇氣を有し比較的其部面に於ける新智識として熱心なる勉強家として一角の親分として犀利なる手腕と鋭敏なる頭腦とを有し當時の異彩ある人物として現代の人氣役者としてたへず衆人耳目の中心たるに於て相同じ。

元來長州人は機略あり卅歳長けて猶異撃なく事物に厭き易き傾あり水戸人は機鋒も鋭く駈引にも巧なれど唯執拗の短處ありて包容調和の妙味を缺く而して二者元より其系統なきに非ざるも其擔任の業務を苟もせず矻々として其職に勤め常に虚心坦々平氣を失はざるも一度斯くと定めたるは斷く逆斷行せんとする風あり此風亦各自の商曾柄によりて優劣あらんも其共に藍より出で青からず濁りに居て染まず而も以前として其本質を脱せざる邊に於て相近し二者の名聲海内に於ては嘖々たるに反し海外にありては一つは乃木黒木の下に居り他は名もなき柔道家の其れに及ばず共に其境遇によりて然らんも猶世界的人物たるに足らざるなしとせず。

常陸山は三十七歳寺内子は五十八歳なれば年齡に於て寺内子は常陸山に比し兄たるべき常陸は殆ど斯界の元老株にして後進の誘導に力を盡し斯界の膽抄として顯はゝ其過去に燦然たる時代を有し今は功なり名遂げたる觀あるに反し寺内子は過去に於て功なく朧々たる名聲なきに非ざるも今や漸く佳境に進みて其辟鉦を表し桂侯の後繼者として未來の首相を以て目せられ自らも望みを將來の發展に繫くるもの此點に於て子は反つて常陸の弟たるものか。

常陸は卅二年始めて入幕し寺内子は同年少將旅團長より教育總監となり次で參謀次長となり卅五年初めて陸軍大臣となる常陸の横綱となりしも此頃と覺ゆ其横綱となり大臣となるや一つは好敵手梅ヶ谷と同時にし他は同じく首相後補者を以て許せらるゝ山本伯と共に内閣に列す二者今日迄孰れも依然として其職に在る相同じ此點より見る時は二者又時流に卓越せる見解勢力有るを知るべし其開運の時機相同じく其境遇の相等しき奇と謂はゝ奇とすべし。

常陸山は一度洋行歸りて小騷々の鼻呼吸を以て代議士たらんとして中止し世をして議會の相場下落せり矣と嘆せしめたるあるに今日假令其手腕人物の如何は暫く措き寺内子の陸軍大臣の重任に兼ぬるに統監の要職を以てするや人々目を峙てゝ軍人萬能と識し天下人才なきかと呟き兼任流行と揶揄して一部人士間の話題となりたる共に世評を惹起せる亦等しからずとせず。

常陸山がルーズベルト氏の握手に感興し寺内子が東湖正氣歌の手書を秘藏して得々たる、良く自己を知る者として面白しと思はゞ思ひ得べし

こは寡聞の余が感じたる一節に過ぎず遮莫今兩者共に相前後して入京せんとす又一種の因緣とすべきか

寺内子常陸山孰れも親しく韓國の山河を見人心の機微に觸れて何んの感をかなす我等の兩者に與へんとするもの酒に非ず美人に非ず歡迎の盛宴に非ず浮薄輕跳の御世辭にも非ざるは元よりなり韓國の山河に滿てる富源一千萬の蒼生之等の異狀は得て以て兩者が好箇の土產物たるに價せずや

我等の常陸に望む所一時の快一片の愛敬に非ずして他にあり潑剌たる元氣眞摯高潔なる武士道的精神は以て一部ヨボ化せる人心を新たにして舊に復し鍋奥中寄徒輩の覺醒を促すに足らん寺内子は或る意味に於て後より來る勝りて能力ある者ならん一片の換抄一片の訓諭以外に各人の期待する所恐くは大にして且種多からんか然りと雖要は所謂舊來の陋習を破り人心をして倦まざらしむるに一致せずとせんや二者の得る所や如何二者の我等に與へんとする果して如何

雜錄

鯨屋伊右衛門翁の鯨談 (十)

全國の諸威式捕鯨會社を以て組織せる日本捕鯨水產組合にては外人砲手の報酬は各自の契約に任せるも捕鯨船員の報酬は左の如く一定し、全國に施行せり。

職名	給料月額	食費月額
船長	四十圓以上 五十圓以下	十二圓以下
機關長	三十五圓以上 四十五圓以下	十二圓以下
水夫長 火夫長	二十五圓以下	七圓以下
水夫	二十圓以下	七圓以下
火夫	二十圓以下	七圓以下
賄長	三十圓以下	七圓以下
賄夫	二十圓以下	七圓以下
船僕	十圓以下	七圓以下

職各	頭別步合金 冬期(自十月至翌年四月)	頭別步合金 夏期(自五月至九月)
船長	五圓以下	二圓五十錢以下
機關長	四圓五十錢以下	二圓以下
水夫長 火夫長	二圓以下	一圓以下
水夫	一圓以下	六十錢以下
火夫	一圓以下	六十錢以下
賄長	八十錢以下	四十錢以下
賄夫	五十錢以下	二十錢以下
船僕	五十錢以下	二十錢以下

備考 頭別步合金は克鯨三十尺未滿の小座頭四十尺未滿の抹香及五十尺未滿の小長須に在りては前表の半額とす

(四八)本邦の諸威式捕鯨船は諸威製造のものが多數であるが、我邦で始めて之を製造したのは明治三十二年舊日本遠洋漁業會社(舊東洋漁業會社の前身)の注文で東京石川嶋造船所が遣つた、其の時には博士の進經太といふ人が技師長で隨分苦心したものらしい近年では大坂鐵工所で完全なものが出來る樣になつた、其價は六萬圓掛るさうだ。

(四九)古今内外の鯨測度法 話が前に戻るが、元來鯨の長さを測るに、日本では昔長さ何十尺と云はずに、必らず何尋と云ふ事に爲つてゐた一尋は鯨尺四尺で、曲尺なら五尺のもので、古來からの習慣は、脊美、座頭、克鯨は、潮吹穴の際から太骨と丸切の堺迄を測つて、何尋と定めるので、長須鯨は頭の端から尾鰭の三つ合迄を測る事に定まつてゐた、鯨體寸法を綱で取り、夫から其綱を尺度に當て尺を取るのである、日本の尺度は、昔時は竹木、鯨鬚金屬などで、鯨尺は鯨の鬚で造つた時代の名が殘つたものと思はれるが、實際見た事がない、今は普通の竹で製したもので、布帛を度る時に限り許され今日も其儘呉服店で使用してゐる、通常一尺或は二尺のもので、鯨尺一尺は曲尺の一尺二寸五分に相當し、曲尺一尺は鯨尺の八寸に相當する勘定である、諸威人は通常鯨を何ファッザム(尋)といふて居る、其一尋は我曲尺の六尺〇三分五厘即ち六呎である、其他英米人は皆な呎で鯨を測る、其一呎は我一尺〇〇五厘八毛に當る。

文苑

▲春畝公詩存拔萃

大津之變扈駕赴西京歸途作(二十四年)

行宮奉勅伏軍機。事定還隨龍駕歸。明日湘南烟水上。更將簑笠換朝衣。

講談

大岡政談 越後傳吉 第五回

旭堂南陵講演

ろでそれはやは はや「ア、結構でございます、何かさうして頂いたら妾等も氣樂なしに傳吉どんの厄介になれますから 甚「うんなら小旦那へ話し持つて見ろ 三「宜からう」二人から傳吉へ話すと 傳「さうでございますか、皆樣がさうやつて御心配下さるやうなら、何うとでも宜しうございますそれ願ひします」おはやはお梅とば呼んで はや「お梅やお梅 梅「お母ア何だい はや「村の衆からわゝいつて呉れるしチ、お前と妾が斯うやつて傳吉に世話になつてるんだから、お前が傳吉と夫婦にならなきア、氣樂だからお前傳吉の嫁になつてくれ 梅「お母ア嫌だよあんな芋ッ掘は、考へて御覽な、あんな色の小黑い手爪先の小汚ない、異個にあんな芋ッ掘嫌だからお母ア謝絶つてたくんなさいな はや「コレお梅、お前そんなことをいふものぢやアない、嫁も厭もあるものか、お前と妾が斯うやつて傳吉の世話になつてるんだもの仕方がないから傳吉を亭主に持な 梅「だけども妾は嫌だよ はや「マはアさういはずに世間の手前があるからウンといつて傳吉の女房になつて置きな、そりやアお前が百姓で育つたでないから、傳吉の嫌なことは能く分つて居りますが、そのうちにまた都合ようして傳吉と別れさせ、良い男を亭主に持して上げるから、今のところは村方に濟まぬから女房になつてといてくれ、宜いかへお頼みだから 梅「イヤお母ア仕方がないから傳吉の女房になるが、妾は何だよ、良い人が出來たら直ぐにその人に變つちまふからその積りで はや「あゝ宜いとも〳〵妾がまた……万端都合ようするから、何といつてもあゝいふ御人好しの傳吉だからどうでもなるよ」世の中に亂暴な奴があればあるもので、親から娘にそのうちに良い色男を世話すると斯ういつたやうな口振、到頭いやがるお梅を說附けまして傳吉と夫婦にさした、サア斯うなると傳吉も一層おはやを大切にいたしますやうな譯、お梅を可愛がりまして働らくのは自分一人從兄妹夫婦で伯母親これなら圓満く治まらなきやアならねのが治まらない、當時の名主城代庄左衛門女房に死別れまして五十を少し越ねて居りますが、なか〳〵艶々としたお爺さん 庄「おはやどん戻つて御座つたかい、お前と私とはこれから先きは茶飲朋友だ」といふのでチョイ〳〵傳吉の不在の時に遊びに來る、茶飲朋友だと話しをして居る間に持つて生れた淫亂は止まぬ、到頭おはやと庄左衛門が密通いたしてしまひましたこの庄左衛門の枠に庄藏といふのがある、これは年も若いし人間は生意氣に出來て居る、郡奉行の黑阪伊右衛門といふに、庄左衛門が自分の妹を嫁に遣つてあるその邊を以て庄藏は十手捕繩御免、御用風をば吹して居る、これが親の庄左衛門に從いて始終遊びに來る、田舍者ではあるけれども贅澤取らぬ人間だし手爪先きは綺麗にして、一本刀を打込み十手捕繩持つて二人三人の者を使つて威張つて居る庄藏、お梅も母に似て何時の間にかこの庄藏に心を通はせました、固より親の庄左衛門とおはやが密通いて居る間柄、丁度宜いといふのでおはやが工合よう周旋てお梅と庄藏を密通させる、町内で知らぬは亭主ばかりなり、傳吉は只稼ぐ一方の人間、朝出すると夜に入らぬと戻らぬ、その不在の間は親は親、子は子で互ひに傳吉の家で戯れて居る、實に見られぬ始末村の衆はもう直ぐに眼を注けてしまひました 甲「そらアくい附やアがつたぞ、これだからア乃公アいつたゞ、縁でもねへ者を連れて來つたどいつたんだ、小旦那ア氣の毒だ 乙「乃公ア今小旦那の家の前を通つたら、名主どん親子とお梅とおはやが酒を飲んでゐたが、實に見られた狀ぢやアねへ、傳吉どんは野良へ出て眞黑になつて働いているによ乃公ア氣の毒で堪らねへ」とサア村內の者がワイ〳〵いひ出した、お梅はまた庄藏と密通て見ると傳吉がうるさく厭になつて來ました。



東京電報

▲韓太子供奉員

昨日左の如く韓國皇太子供奉仰付られたり

式部次長 伊藤博邦
宮內省書記官 栗原亮大
侍醫寮御用掛 岩井禎三
同 小山謙
韓國皇太子山陰山陽行啓供奉被仰付

▲海軍擴張程度

海軍擴張に關する大藏省の意見は可成既定計畫を變更せざるに在り海軍省は之に反し可なり膨大なる計畫なりしも此程兩者の意見合致し海軍勢力補充案は廿七議會に現るべきが其程度は既定計畫に大なる變更を加へず尙繼續事業となさず四十四年度一年分の經費を要求する形式を執るべしと

▲馬政委員會改正

馬政局官制改正の結果馬政委員會官制改正せられ近日中勅令を以て發布さるべし

▲馬政委員の任免

馬政委員會官制改正せらるゝと同時に寺內委員長は同委員長を免せられ現馬政局長官淺川少將は陸相の後を襲ひ委員長に任せられ更に吉田騎兵課長は同委員に補せらるべく內定し官制改正發布と同時に任命せらるべし（同上）

伯林電報

▲日英博と獨逸

伯林の獨逸工業常設博覽會に倫敦日英博覽會日本部の成功を非常に賞讃せる報告書を發表せり（廿五日）

▲獨宰相就任披露

獨逸宰相ベートマンホルウエヒ氏はウエルテル國王をバーデンに訪問して就任の披露を爲せり（同上）

▲獨逸皇后の御着

獨逸皇后及皇太子殿下にはシウレスウイックホルスタイン家のフエオドラ內親王葬儀參列の爲めオーベルハスラッハスに到着せられたり（同上）

雜報

警察委託覺書調印

二十五日統監府告示第一三九號を以て日韓兩國政府は明治四十三年六月二十四日付を以て兩國間に韓國の警察事務を日本政府に委託の件に關する覺書を交換せり其の全文左の如し

覺書

日本國政府及韓國政府は韓國警察制度を完全に改善し韓國財政の基礎を鞏固にするの目的を以て左の條款を約定す

第一條 韓國の警察制度の完備したる事を認むる時迄で韓國政府は警察事務を日本國政府に委託する事

第二條 韓國皇宮警察事務に關しては必要に應じ宮內府大臣は當該主務官に臨時協議し處理せしむる事を得

右各其の本國政府の委任を承け覺書日韓文各貳通を作り之れを交換後日の證とする爲め記名調印するものなり

明治四十三年六月二十四日 統監子爵 寺內正毅
隆熙四年六月二十四日 內部大臣署理 總理大臣 朴齊純

宮中收繭式の模樣

廿五日午後一時より宮中に於て第二回收繭式を擧行ありしが其の式次如左

一時皇后御親蠶室に出御、同五分親王、君、各大臣、中樞院議長以下高等官、親王妃、君夫人、各大臣夫人、承候官夫人、高等官夫人着席、同十分愛國婦人會々員、官立女子蠶業講習所學徒は階上に鞠躬禮を行ふ、同十五分宮內大臣前に進み御收繭式を奏行す、同十六分農商工部大臣蠶筐繭筐を奉して玉案上に置く、同十七分皇后御收繭、同二十五分親王妃、君夫人、各大臣夫人、承候官夫人、高等官夫人、女官收繭、同三十分農務局長御收繭量を奉計して後農商工部大臣御收繭量を奏す、同三十一分宮內府大臣前進して御收繭式の畢を奏す

右終つて今春農商工部より指定せし養蠶を皇族夫人、大臣夫人、親任官夫人、承候官夫人、高等官夫人其他女子等の各自家にて養收したる繭二十個宛を持參し禮式官の案內に依り御前に陳列し農商工部大臣上奏し皇后は蠶業奬勵の宣諭わらせられたり

韓國學生の動靜

在東京の韓國留學生を網羅せる大韓興學會に於ては昨年來私かに合邦反對運動を試み時局の切迫に伴ひ本年に入りては秘密に檄文を印刷し又た其機關雜誌たる大韓興學會報に於て出版法を無視し奇矯なる言論を鼓吹せるより其筋に於ては夫々差押へ又は發行停止の處分を加へしが彼等は統監交迭の機に乘じ何等かの運動を試むべき計畫なりしも去月交迭發表の際は恰かも留學生の多數は學期試驗を前に控へたる場合とて其方に忙殺され其當時は割合に靜穩なりしが廿日頃右の試驗も終りたるを以て是より運動に着手するに決し一兩日中總會を開きて今後の方針を定むる筈なるが同會の目下急務とせるは機關雜誌再興の件にて是には規定の保證金を要する次第にて韓國皇太子より下附せられたる五百圓を右の保證金に充てんことを希望して申出づるも監督の手許より容易に之を支出せざるより多分會員間にて出し合ひ其金を調達することゝなるべく又た彼等は今期暑中休暇を利用して可成多數歸國して排日熱を鼓吹する計畫にて目下歸國者の勸誘中なりといふ

清國々會の前途

國會速開に對する清國各省の輿論は近時益々其聲を高め、各省諮議局を始め各種團體の代表者九十名は過般來北京に集り各方面に向つて熱心に該運動を試み居れるが聞く所によれば這回の速開運動は清國特有の團體的盲動と自ら其撰を異にせる而已ならず各代表者は何も眞面目に奔走し且其請願の趣旨の如きも人民文化の程度未だ足らずといふも相當の制限に依りて選擧者、被選擧者の資格を定むるに於ては今日國會を開くも何等の支障も見ざるべく今や各地方の民論激發して國家の前途實に寒心に堪へざるものあれば此等民論を指導して健全なる輿論と爲し以て國家民人の幸福安寧を得せしめんと欲せば今の資政院を廢して速かに國會を開かざる可からずといふにありて第一回のものに比すれば頗る穩健にして說く所亦一理あれば各代表者が今後尙熱心に其運動を續行するに於ては必ずや其趣旨を貫徹するに至るべく最近政務處及び軍機處に於ては大臣會議を開きて該請願に就き協議する所あり慶親王那桐等は資政院に附議決定すべしと說き各大臣の意見も殆ど之に一致し居れりと云へば資政院に於ても結局輿論を採擇して多少其開設期を早むる事なるべしと

●全南在留邦人戶口

五月末に於ける木浦理事廳管內の邦人戶數二千三百八十一戶人口男女合せて七千九百八十三人にして八千人に達するも遠きに非ざるべし之を前月末に比する時は四百五十四人の增加にして又木浦人口は五月末に於て三千四百四十九人を算し前月に比して五十三人の增加なり今理事廳管內及び木浦に於ける既往二ヶ年の五月末人口を比較せば

年次	理事廳管內	木浦港
四十一年	六四五八人	二八五八人
四十二年	六一八九人	二九五一人
四十三年	七九八三人	三四四九人

にして其四十二年が前年より同管內に於て減少せるは全羅南道一帶暴徒の巢窟と化して賊徒出沒頻々たりしに因ると

●耶蘇學校の卒業式

義州府州內面耶蘇學校にては二十日尋常高等の學各科の卒業式を擧行し柳觀察使徐府尹日韓各學校教師を始め生徒父兄等約五百餘名參列、柳徐兩氏の祝辭あり更に徐府尹は貯金の必要を說き特に卒業生一同に對し切手貯金通帳一冊宛切手十五枚宛を添へ配與せり卒業生は中學科男十一名女廿三名小學科を卒業して中學に進級せしもの男十七名女六名なりと云ふ

●沿海州の無線電信

露國は今回沿海州に於ける行政を獨立せしめ新に其長官として知事を置く事となりたる結果一昨年以來無線電信の敷設計畫を爲しつゝありしが今回堪察加「オホック」より「ヤクック」迄の線は竣成するに至り既に開通を見るに至れるが尙該線延長の目的を以て目下獨逸より技師を招聘して測量中なりと云ふ

●釜山元山間の航路

釜山元山間の航路概況を聞くに釜山方面は漁獲物の潤澤なりしと一は又月末に於ける釜山地方大豆相場昂騰の爲め比較的好成績を收め得たり尙同地大產物たる干鱈は今日までの經過によれば前年に比し漁獲大に增加し且つ今後の出廻りも活潑なるべく豫想せられ荷客の如きは倍々增加の傾向ありと

經濟小言

▲米國國富の壯大は今更ら說くの要なしと雖ども其一端を叙すれば如左

▲同國鐵道會社の拂込資本金は百五十二億八千四百萬圓にして社債二百億圓なり、亦鐵道以外諸會社の拂込資本金は二百六十三億圓にして社債八十八億圓なり。

▲拂込資本と云ひ社債と云ひ呼稱を異にすと雖ども皆一樣に生產事業に投ぜられたる者なり、今茲に合算高を擧ぐれば實に七百三億八千四百萬圓の巨額に達す、同國政治の金力に左右せらるゝに到る蓋し故あるかな。

▲聞くところに因れば今や米國齒科醫が入齒用として一ヶ年間に消費する黃金地金は價格に見積り其額二千萬圓に達すと、米人の黃金を扱ふ事實に如瓦片。

▲韓政府一ヶ年の歲入は一千三百万圓なり、韓國銀行の拂込資本金は二百五十萬圓なり、東拓の拂込資本金之又二百五十萬圓なり、以上の三者を計上して其額漸く千八百萬圓なり、恥らくば米人一ケ年の入齒用にも足らず。

▲さは云へ今より十六年の昔大統領クリープランド時代の米國は國庫窮乏してロスチャイルドの助を請ひし事もありし、米國富其後の增進は外資を以て自然の富源を開發したるにあり。

▲我半島の現狀や貧窮の極に達す、而かも之れ自然富源の開發せられざるの罪なり、度支部、韓銀、東拓等心を合せて其本分を盡さば夢は米富の如く大ならざるも庶幾くは貧境を脫するを得んか。

▲當地に手形交換所の新設せられたるは可なり、從來の如く不渡手形小切手の濫發は財界に大害あり、自今交換所にして其本能を發揮せんか財界の亡者立所に退散すべし、京城經濟界は將さに第二期に入れり。

●天日鹽本年の收穫

六月十三日迄の本年の天日製鹽額は朱安に於て一等十二萬六千七十斤二等三十一萬五千五百斤廣梁灣に於て一等千九百三十斤 等三万六千二百六十斤なるが本年は昨年に比し降雨日數多く朱安の如きは本月十七日迄の間に於て收鹽日數は僅かに四日なりしといふ

●警察事務委託裁可

朴總理大臣署理は二十五日午前十時昌德宮に參內韓皇に謁し二十四日午後八時韓國警察事務委託に關する覺書の調印交換を了せる旨を奏上し正式の裁可を得たり

●共進會出陳物落着

過般開催せし名古屋、福岡兩共進會に韓國政府より出陳したる物品は今秋開催群馬縣共進會に廻送する分と諸公共機關に寄附したる分等をそれ〴〵取片付を終りたる由なりと

●韓國財務の報告

韓國財務經過報告書第四回（隆熙三年下半期分は近々度支部より出版の筈にて目下印刷中なるが例に依りて財務の經過と狀態を知らんと欲するものゝ爲めには一大寶典なるべし

●頭本夫人功勞表彰

先頃歸朝したる頭本貞元氏夫人は多年京城にありて愛國婦人會の事業に盡力し其功勞顯著なるを以て今回本會總裁殿下より特に七寶銀色製有功章を授與せられたり

●警察に關する官制

別項の通り愈韓國警察事務委任の件公布せられたるに付之に伴ふ官制は今明日中を以て制定發表せらるゝ都合なり

●仁川港の來往者

廿四日仁川出帆の群山丸にて原警視は群山に駐劄軍倉庫長八木二等主計は釜山に向け出發す

●志水檢事の着任

仁川裁判所檢事志水高次郎氏は去る二十四日着任せり

金融組合の新設

既設金融組合百箇所の地本年新增設は三十箇所にして目下設立委員選定他一切の準備中なるが八九月頃迄には全般の準備を畢へ十一月末より全部開業の運に至るべしと其新設地左の如し

（京畿）永登浦 漣州 抱川 汶山浦
（忠南）成歡 鳥致院 藍浦 鎭川
（全北）淳昌 泰仁 仁實 茂朱
（全南）木浦 珍島 麗水 綾州 潭陽
（咸南）長津 城津 蔚珍 襄陽
（平北）昌城 寧邊 殷栗 鎭南浦
（慶北）醴泉 盈德 梁山 靈山 山淸

民會と公園引繼

漢陽公園引受に關する京城居留民會は二十四日午後七時より開會せり出席者は和田議長以下十二名にして開會の宣告あるや議問題調査委員松永達次郎氏委員長として調査の經過を報告し次いで又皆川委員の補足說明あり夫より一二讀會を開き審議の結果三讀會とも異議なく通過し左の如く可決確定せり

▲歲出更正豫算

△經常部

第九款	公園費	七一〇、〇〇
第十二款	豫備費	一六、九一五、〇〇

△臨時部

第八款	財產費	五〇〇、〇〇
第九款	公園費	一、八六九、〇〇

右更正の結果豫備費より千三百七十九圓を支出し之を經常部公園費に五百十圓を又臨時部公園費に八百六十九圓を補充し更に臨時部財產費より千圓を支出して同公園費に充て合計千八百六十九圓の內千八百圓を公園引受賠償費とし更に其殘額及追加豫算より千百八十五圓を支出して公園追加設備費に充つる筈なり而して追加豫算は左の如し

△歲入追加豫算表

△歲入臨時部

第一款	繰越金	四四八、〇〇
	但四十二年より繰越	
第三款	財產賣却代	一二八五、〇〇
	但南山分校舍賣却代	

△歲出臨時部

第四款	教育費	四四八、〇〇
第九款	公園費	一、一八五、〇〇

夫より古城民長は寢耳に水的追加議案を提出したり該案は櫻井小學校隣地購入費一千二百五十九圓及び該校附屬物置一棟新設費二百二十八圓の支出豫算にして隣地購入費は既定のものなれば滿場異議なかりしも新築費に對し皆川議員の反對あり曰く民長の說明によれば該設備は最も必要の事に屬し且つ本校新築豫算に剩餘を生じたるを以て之を要求せりといふも其必要は疾くに豫知し得べき事にして豫算に剩餘を生じたる爲め必要を感じたるにあらざる筈なり既に何人も豫知し得べき事を怠り今更の如く之を要求するは無常識も亦甚し加之斯かる小設備は本校建築と共に請負に付すれば何等不都合なかるべく又建築經濟上其利益如何ぞと手嚴しく其方針を痛論せるが秋吉氏の外一人の賛成者なく遂に追加案を可決確定して午後十一時散會せり因に該費用は前年度繰越金に求むる筈なり

●手形交換開始信用

既報の如く手形の交換は來る七月一日より開始せらるゝ筈なるが從來に於ては銀行業者が其の得意先に對する情誼より多少の斟酌を要するところもありて往々弊害の伴ふこともありしが今後は不渡手形に對して取引を拒絕し新聞紙に廣告する筈なれば振出人も注意を爲すと同時に銀行家も亦不渡りの豫防をなす爲め注意を拂ふに至るを以て是等の弊害は非常に減少せらるべく殊に時間の節約を爲し取引關係の圓滿を期するべければ手形交換の開始は漢城金融界の一進步なりと云ふ因に記す交換手形の總高は每日五六萬圓見當ならん

●日本出漁船の情況

日本漁業者の韓海出漁は逐年著しき發展を來し去る三十六年には出漁船數千五百八十九人員七千百八十七漁獲高十六万五千八百圓に過ぎざりしもの同三十九年には船數二千七百四十八人員一万二千二百四十五人員一万四千百八十一漁獲高二百九十六万六千二百圓と累加せしが昨四十二年末の統計に依れば更に大に增進して船數三千七百五十五人員一萬五千七百四十九漁獲高二百七萬六千八百圓に達し本年は尙逃展の模樣なるが出漁者の主なるものは廣島縣の五百二十七艘二千二百四十八、山口縣の四百四十八艘千八百三十八を最とし香川、長崎、岡山、熊本の四縣之に亞ぎ總て一千人以上の出漁者を出し居れり

●鹿兒島縣の出漁民

鹿兒島縣にては夙に韓國出漁民に對し夫々奬勵の途を講じ同縣串木野村の出漁民は例年鯖漁期に際して渡韓一本釣をなしつゝある彼等の品行方正にして貯蓄心に富めることは實に韓海出漁民中の模範として恥しからず同縣には益々之れが奬勵をなす爲め過般弓削同縣事務官は關口技師を從へて釜山に來り漁業根據地設定の爲め視察中なるが同地水產組合にては充分便宜を計る筈也

●合併後の民團事務

龍山民團は七月五日を以て廢止し京城民團に併合せらるゝことに就き合併後の民團事務取扱ひに就て聞くに龍山には民團役所の出張所を置き書記を以て出張所事務を取扱はしめ當分の間助役は置かざる筈なりと云ふ

●加越能鄉友會開催

京龍仁在留の石川、富山二縣人は同鄉出身の梅ヶ谷、大の川、玉椿、黑瀨川等の力士の來りしを機として二十七日午後六時より掬翠樓に於て加越能鄉友會を開催するさ云ふ

●ロスチャイルド氏

滯京中なりしロスチャイルド氏の一行は既報の如く二十五日午前九時南大門發列車にて宮島に向け出發したり

●岡喜七郎氏の來韓

岡前內部次官は廿五日東京を出發し事務引繼の爲來韓する旨通報ありたりと

●和田技師の歸仁

東上中なりし和田觀測所長は去る二十四日歸仁せり

●向田幸藏氏入京

京畿道警察部長の同氏は二十四日入京不知火旅館投宿

●高橋本吉氏入京

關東都督府秘書官の同氏は二十四日入京天眞樓に投宿

●掛札季敏氏入京

平安農工銀行技師の同氏は二十四日入京山本旅館投宿

龍山通信（廿五日 支局報）

▲觀光團招宴 龍山の有志者は二十八九日頃元山觀光團を招待し歡迎宴を催すべく寄り〳〵相談中なり

▲民長の往訪 京龍合併發表されたる爲め大久保龍山民長は二十五日京城理事廳に出頭し後ち京城民團を訪ひしが多分事務引繼に關する用向ならんと

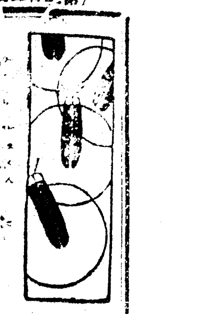
▲同盟會集會 龍山橫貫鐵道期成同盟會は二十六日集會を催し會費徵收に關する協議を爲す由還は現委員長たる大久保民長が京龍合併に依て其位置自然消滅し民團との關係絕べきに依り事以前に會務の整理を爲さんとする者ならん

▲民長の運動 大久保民長は民團合併後內部に入るならんとの世評ありしがた聞く處に依れば氏は合併後の助役たらんとして運動しつゝありと

▲軍主計着任 一等主計榎本秀松氏は軍司令部附を命せられ二十四日着任

▲治外法權▼

故春畝公昌德宮中の作にこー云ふのがある、花明柳暗春三月、昌德宮中大極亭、倡婦何知君國變、無心歌舞不堪聽、詩のマヅイ、旨いは別として意味は良く判つて居る、記者は此意味をひつゝ秘苑相撲に行つた▲盆月觀門に差掛るさ日本禮服着用者に通行相成らぬと接待員がガン張つて居つた、記者も袴羽織だからドーなる事だろうと思つて居たらダマッテ通して吳れた▲當の洋服の相撲見物は肩が凝て堪らぬ若しも接待員が記者にフロックコートを强たら木戶から歸る積であつた、况んや袴羽織は我禮服なるに於てをや▲見物二千人、其三分の二は月給取であつた、常に厚祿を喰んで居つて今日は亦江戶相撲の陪觀難有やら、無系やら、高い所へ腰打据へて欠伸を嚙殺す風体中々見事なもので何と云つても官吏は太したものだ、併し官吏連中には相撲は判らぬ、判らねばこそ欠伸も出る、若しも判かつたら飯の喰上げだ▲世に八百長とか何とか云つても力士の土俵上ほど正直なものはない、實力上の勝負が其日〳〵に附く、口でドンナ法螺を吹いても土俵はゴマカシ得ぬ、常陸や梅や橫綱を維持する全く實力に因るのだ▲併し梅でも常陸でも實力が失せたら如何に人氣があつてもモーだめだ、イヤでも應でも勇退せねばならぬ、見よ彼の大砲や、荒岩や、今は見る影もない年寄となつた▲重ねて言ふ官吏連中に相撲は判らぬ、實力角逐の意義が判らぬ判らねばこそ欠伸が出る只感心なのは李皇帝だ、彼は欠伸一ツせずして始終取組表を頸引で勝負を見て居られた▲序に言ふが當日の主人公皇帝は足を椅子に投掛けて煙草スパスパ、實に趣があつた此趣ある主人公の面前へ袴羽織で出て惡いと一体誰れが言出したのか、串談も大抵にせぬと困まる。



常陸山君を訪ふ

▽岡崎氏邸の三十分

廿四日秘園上覽相撲終了後大和町岡崎邸に巨人常陸山を訪ふべく在否を電話にて問合せたるに「主人同道外出に際し居れるも只今直ちにならばお待受け申さん」とあり「然らば少々待合されたし」と申入置き至り訪ひぬ以下は即ち其對談なり。

玄關前に据列ねたる人力車の間を縫ふて案内を乞ふ招ぜられたるは庭園に面せる八疊の客座敷岡崎氏及令閨はフロックコートの一客人と談話中なり、時候の挨拶など型の如くあり、進めらるゝ儘に茗を啜りて待つ間程なく横綱**常陸山**は其巨軀を運び來る**羽織袴**の衣裝は他出の時の迫れるを思はしむ、床の間を前に庭を背に隅柱の前に設けられたる席に着く慇懃に一揖して脇息に身を凭す**三十八貫**の巨軀は正座に堪へざるなり、大團扇を持てる弟子は背後より風を送れり、顧りみたる彼れは「**お客**さんが**居**らるゝツ」と低聲にて叱し退けたり、誰れか彼れを傲慢なりとなすものぞ、余が來韓已來の感想を聽かんことを求めたるに對し水戸辯の重々しき口を開いて彼れは斯く答へたり「只モウ開けに開けた、思つたよりは**清潔**であるのに**驚**へたです。」と庭園の緑の燈火に照り映ゆる涼しき色の上に眼を落せり、余曰く「貴君が見た所を以て京城を評したら**間違**ひます、此の大和町邊はれ上の御威光され上の金の力とを併用しての清潔だが吾々**平民**の住む**下町邊**は甚臭く猶臭いですよ。」「成程」と點頭きたる彼れは余の口邊を打見戍る余が**梅ケ谷**君の**頭髮**の甚だしく脫落せるを不審したるに對し「梅關も氣の毒な病氣でしてね。」と憮然たり、出先きを妨げてれ氣の毒な何所へ行かるゝにやと問ひしに主人岡崎氏は代りて「吾社株主**白基金時**氏が**明月館**にて朝鮮料理の馳走、妓生の踊り等を見する」爲めに招かれたりと語らる、余の「朝鮮料理は箸を着くるも可、然れど**妓生は見丈け**に**止**めて置かるべしと戯れたるに彼れは崩るゝ如き笑の裡に「ヤ大丈夫です、私ヤア大丈夫だが**主人の方が案**じらる、ナア**奥**さん」と夫人の方に水を向ける、夫人は「ホホホ」と淑しやかに「左樣も思はれますね貴郎」と岡崎氏に鋒を轉せらる、一座哄笑「平壤へは行かるゝにや、令妹は來城せられざるにや」と問ひしに「平壤へは參ります筈で、妹は子供の世話や何かで京城へは參りませんが配偶の**掛札**がソレ貴君の隣りに**參**つて居ります。」フロックコートの客は掛札氏なりしなり、掛札氏と初對面の挨拶を交換しれ子供衆のれ年を伺ひしに「六歳になるのを一人丈け平壤に伴れて居ります、家準の取締り等もありますので不本意ながら……」と語らる、「能く**京城**の**車**へ關取の膂が入つたことで」と不思議に感心すると**夫人**が「何う致しましても**伊藤組**ですよ別製の用意がありますもの」と伊藤組の爲めに氣を吐かる、岡崎氏曰く「常陸關の話は皆聞きたがつて居る、委細ことは明早朝御訪問下さい、併し早くないと他の社に先を越されますよ」とあり余曰く「我が社が他社に先達ちて常陸關の談話を掲載したりとて他は社長との關係を思ふて至當となすべし、**虎**の餌を爭ふが如く、乞食の食を請ふが如き態もて押し合ひへし合ふ必要を認めず、只今迄の**御話**にて充分**自分の責任は果**したり」と深く他行の途を妨げたるを謝し主人夫妻掛札氏常陸山君に送られて辭す常陸山君特に玄關式臺に下りて默禮す、態度慇懃加も**恭謙の態**を**逸**せず誰れか彼れを傲慢の野人となすものぞ(むの字)

梅ケ谷と國見山

梅ケ谷國見山の兩關と擲翠に會す以下は兩關の談話要領なり

彼の便々たる麥酒樽然たる腹を撫し**サイダー**の盃を擧げつゝ梅ケ谷は語る「今回は大勢參りまして飛んだ御厄介になりますれ聞き及びでも御座んせうが來韓前の我々ども一家眷屬の心配と云ふものはれ話しになりません私の母(雷の妻)の如きは今では韓國だ滿洲だのと云ふが云はゞ**唐土**だ唐土へ渡るゝと云ふのにれ前は平氣で心配しない不實だとの不足を列べる**水**盃をり迫り兼ねん**權幕**イヤハヤ驚きました、と云ふ自身も腹の裡ではピク／＼ものでした、大角力の滿韓巡業と申しますことは**協會**に取りましても**大問題**で大奮發なので御座います、愈々夫れと決定しました時協會取締の訓示演說の樣なものがある、言ふ所は滿韓は將來の巡業地で今回は其皮切り言はゞ**處女**との**結婚**と同樣末長く添ひ遂げるのだから**一遍で懲**りさせる樣では駄目だから親切にして土地を荒す樣なことのない樣にと云つてる傍から**滿州**や**朝鮮**には良い水がない、**水中毒**でもしたら大變と水漉器械を用意する藥と云ふ藥は調へる餞別と云へば**皆藥斗**り夫れに此樣な立派な宿屋や料理屋があるとは思はないから**軍隊**の方にお願して**バラック**でも借用して**宿舍**しようと云ふ騷ぎ夫れが來て見れば此れです東京大坂其の他二三の都市を除いたら到底此れ程設備の整つてる所はありません九州地方にも少ない先頃來より病氣して居ましたのと……流車や流船で揺られましたのとで**體量は五貫目**も**減**りました酒は一切飲りません死に角案外立派なのには驚きましたと傍の**國見山**を顧みて「國見關は何うだい」と話しを彼れに向けた「全く横綱の話通りで南大門驛から宿までの歡迎會に豫想外で車の曳人も早いのだらうが兎に角宙を飛ぶ如く全く歡迎の方々に追つ飛ばされた傾で只もう夢中で御座いましたよ、或る御贔負のれ客さん杯は國見朝鮮**土產**には**虎**を**捉**へて來て與れと云ひなさつた私もヱ、宜しいと**請合**つて**來**て見て吃驚、釜山へ上陸した時には恰然**函館**へでも着いた樣で此所が朝鮮とは思はれませんでした虎が居ると思つた所に**美い女**が居る**好下物**があある全体私は船に弱い流車に揺られて結局船に乘ると雨が降り出す部屋へ入れば**一件物**を我慢して居ると波を冠る船は左右上下に動く夫れでも我慢して居たが何うした動機か**籐椅子**の脚が折れたモウ仕方がないと斷念して室に入ると案の定一件物を擲げましたイヤ隨分弱りましたよ釜山へ上つて漸くホッと息を吐きましたが又々流車で責められたので酒は愼むことにしました、ナーニ椅子の**脚**が**折**れたと云ふもホンノ動機で老ひ込みましたから澤山の量は有りはしません、此れに附けて思ひ出しますのは**四五年前**のことでした梅關と私とで日本橋の或る**待合**に行つて只ゴロ／＼と**下座敷**に……私共は大抵な待合では二階へ上げません……何うしたのメリ／＼と**根臺**が**拔**けた事がありましたが面目ないやら氣の毒やらで女將に詫びて大急ぎで歸つたことがありました、と語るに梅ケ谷も共に笑ひつゝ私にせよ國見にせよ駒關、常陸關**皆似**たり**寄**つたりの**年頃**なれば今の間に**新進力士**の**ド傑**いのが出なければ**退**くとなれば殆んど**一緒**ですから角力道の爲に**心配**に堪ゑませんと感慨に堪へざるものゝ如かりき是より先き便所より立歸りたる國見山の跡を追ふて來りし雛妓が彼方の座敷の旦那さんが(**內部の平渡**君か)**國見山**は色の白い**好男子**アンナ黑い**厭**な**男**ぢやないと言いなさつたと報告したるを聞いた國見は額を叩いてモウ左樣なつちやア**駄目**だ駄目だぜあるに一座動搖渡れり宴を撤して歸途に就きたる梅ケ谷は國見山を顧みて**擲翠の廊下**は**安心**して**步行**る哩と力足を踏み占めつゝ境川を捉へて歸宿したり此中國見山は以後の巡業地に付き語るらく當地打揚げ後仁川、平壤、安東縣より船にて大連に向ひ同地より特に大坂商船會社より差し回されたる船に搭じ紀州に向ひ更に江州に到り引き返して九州を巡業し歸途靜岡を打揚げ歸京する都合なりとか

近藤氏の寄贈品

▽常陸山に古刀と玉

京城商業會議所議員近藤佐五郎氏は東京大相撲來韓紀念として**朝鮮古劍**(命七星象眼入)一振及古代翡翠三輪一個を本社に托し常陸山に寄贈方依賴ありたるを以つて**本社**は昨日**横綱常陸山**關へ**寄贈**の手續きを爲したり、右の內朝鮮古劍は頗る**立派**なる者にて特に近藤氏が**秘藏**せしものなるが之を受領せし常陸山の爲めには此上なき紀念品たるべし

●茨城縣人會と常陸山

在留地茨城縣人會は**横綱常陸山**谷右衛門と同鄉の誼を以て廿六日夜擲翠樓に於て開催する縣人懇親會へ特に歡迎の意味を以て常陸山を招待する由なり

大角力彙報

▽二日目の重なる取組

愈々昨二十五日より櫓太鼓の響と共に初日を出したる東京大角力は素晴しき人氣を以て棧敷は殆んど買り切れの有樣なるが午後一時半頃より生憎の雨がポツ／＼降り懸り頗る殘念なり今二十六日の日曜日こそ思ひ遣らる

二日目の取組

(男島	天王山
(八甲山	雷ケ浦
(佐賀海	石山
(大蛇潟	日本海
(梅の花	紫雲龍
(佐の川	大の川
(黑瀬川	大湊
(鳳	龍ケ崎
(土州山	近江富士
(錣川	碇潟
(朝汐	駒ケ嶽
(國見山	八島山
(玉椿	常陸山
(梅ケ谷	兩國
(八島山	錣川

京城日報好み

日人死体の漂着

▽覺悟の自殺ならんか

一昨廿四日の午後一時頃仁川月尾橋梁の西側砂地に一名の日本人男死體漂着せる由を聞知せし仁川署に於ては即刻篠村監督巡査外警察醫警官等現場に出張して檢視したるに年齡は四十歲位ご覺しく身の丈けは五尺六寸位にて紺飛白の大島模擬の衣類に紺木綿の兵古帶を占め紺足袋を穿ちたる風体は何處より見るも勞働者風にて兩袖に五六百目位の切石を携へ居たるに徵すれば正しく覺悟の自殺らしく死後既に三十日以上經過し居る事とて此頃の暑さに全身腐爛し居れるのみならず腹部鼻吼其他局部よりは蒼虫發生し剩へ臀部筋肉等は離脱して骨を露出し居れる等其の慘狀は眼も當てられぬ程にて臭氣鼻を衝き酸鼻の狀を呈せしが何分前記の如く全身腐敗し居りて容貌を辨ずべくもあらず加ふるに携帶品は皆無の事とて何處の如何なる男なるやすら手掛なければ取敢へず屍體は民役所に引き渡し假埋葬に附したりと云ふ

●不幸な仕立屋職人

▽肺結核にて病床に呻吟

千葉縣匝瑳郡福岡町二千七百番戶平民當時本町六丁目山村末殿方金杉鎗太郎(四三)は數年前故鄉を出て諸所を職人として渡り四年前に渡韓來京し仕立職人に被雇其の間に多少の貯蓄ありしに一昨四十一年にチブス病に罹り爲めに貯金も皆無となり知人等に幾分の借金作りし位となり快復後現住所山村方に雇れ仕立業に從事中本年二月頃より不幸にも病魔の犯す所となり爾來今日に至る迄引續き服藥治療しつゝありしに今般多々見醫士の診斷に依り肺結核との事にて今後三ヶ月以上充分なる療養を施さゞれば効果を顯す事なしと言はれたるも到底服藥續るの資力なきのみならず知人面識ある人には種々厄介になり居り殊に最も世人の嫌忌する病氣とて如何ともなす方法なく山村末殿井に南山町三丁目玉田慶太郎保證の下に南部署に行路病者取扱方願出たりと

●金光教監の講演

金光教々監佐藤範雄師は韓國布教管理者高橋教正外一名を從へ滿韓巡視の爲め大連、旅順、全州、奉天を經て去る二十一日夜着京の上山本旅館に投宿せられたり同一行は大連旅順に於て戊申詔書の大講演を開き大連にては二千餘名の聽衆あり(二十三日)夜は金光教龍山教會に於て『信心の德と力』との講題にて一時間餘の說教あり聽衆に多大の印象を與へられ感極りて涕泣するものあるに至れり(二十五日)は仁川に趣き同地歌舞伎座に於て通俗大講演を開き又同教會にて二席の說教を催ふされ廿八日龍山に歸られ同夜若松町教會所に於て同教會長天野淸就職奉告祭を執行し終りて『信仰と人格』なる講演あるべく廿九日より七月二日迄京龍視察同三日(日曜日)午後當京城にて『國運の發展と國民の覺悟』なる題下に公開大講演あるべく翌四日京城出發釜山に向はるゝ筈なりと(同會報)

●手長下女の處刑

長崎縣壹岐郡香椎村士族當時京畿道開城郡開城館歷八大久保かず(二〇)は京城南部冷井洞七統十一戸山田ふさ方へ下女として雇れ中不圖惡意を起し本年四月雇主不在中簞笥の內に入れありし絹地縞單衣一枚及帷子一枚(代二十一圓)帶〆一本女物半手袋一組(代四圓)を竊取し突然暇を取り退京し開城に至りしこと發覺し京城裁判所に送られ審理中の處二十四日懲役一箇月に處せられたり

●日本メソヂスト教會 旭町二丁目の同教會にては二十五日午前九時より日曜學校同十時より禮拜說教木原牧師二大禮典執行午後八時より總組會

●京城基督教會 日の出町同教會にては二十五日午前九時日曜學校同十時禮拜說教午後八時傳道說教あり朝『抑制せられたる趣』米澤牧師夜『韓國に於ては日本クリスチャンの位地』橋本雅太郎氏『愛の聖化』米澤牧師

●壽座 三遊亭金馬一行にて非常の大入を占めつゝある同座二十五日の代り番組左の如し

釜盜(金平)指の寫し、檜並に獅子の曲(金遊齋)常盤津小夜衣仙太郎(小つま)味噌藏(市馬)無筆の親(金勝)音曲手踊り(金登喜)義士傳の內勝田新左衛門(花圓遊)曲獨樂の曲(鶴次郎)尺八の曲(花堂)景品(金馬)大切喜劇交換手

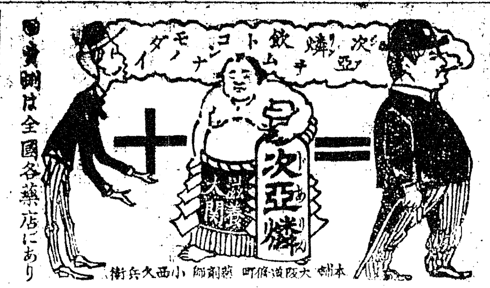
美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九番
ゑり徳商店

廣告

一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候
京城旭町三丁目
建築業　柴田芝六
電話五百六十八番

表具部開業
額屏風天井壁張及表裝一切並書畫の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任　網島久雄　眞光小太郎
電話（五六八）

大營養新藥
人體の肥料
牛乳の數倍



本舗　大阪道修町　藥劑師　小西久兵衛
●販賣所は全國各藥店にあり

入院隨意
京城壽町三丁目（電話三七八番）
中島醫院
院主醫學得業士　中島貞信

景福宮拂下建物賣却
温突瓦斯コークス販賣
京城南山町三丁目（電話一一四九番）
酒井組出張所

胃腸新藥
タカヂアスターゼ
韓國總代理店
仁川本町三丁目電話八五〇番
竹田津三平

祝開店七週年大賣出し
弊店儀開業以來大方各位の御引立に預り日增隆盛に相成難有仕合に奉存候就ては聊か御禮の印として特別の安價を以て販賣仕候間不相變多少に不拘御用命仰付被下度奉願上候
美術、書畫、襖、壁、天井張、
京城壽町一丁目
桂萬吉
（電話六二七番）
同岡崎町（矢島鐵工所筋向）
桂龍山支店
（電話架設中）



資本金壹百萬圓
大阪火災海上運送保險株式會社
（本社大阪東區備後町）
京城代理店
官製煙草元賣捌店
京城本町四丁目
三共商會
電話四一三番
保險料は低廉にして極めて簡便に御契約可仕候

移轉御披露
京城旭町一丁目小森材木店裏
御待合　住の家
電話六七六番
是迄の住の家は夏の待合としてチト豐岡敷分けて日々に人目も繁き場所と相成候まゝ今度旭町一丁目小森材木店裏に新築の上移轉致し凡て夏向きに粹な方の離坐敷亦は夕暗の四疊半と心をこめし設備ぶり一度御來遊の上相變らずの御ヒイキを猶亦人目を忍ぶ君樣方の裏道傳へは元住の家本門通り右の小路を御見賞店前に出て右ゐ御曲りの上裏門よりとあるじ白す

●朝鮮唯一の土產夏季滋養●夏瘦の人は必ず飲め
賜東宮殿下御買上之榮
清國領事館御買上品
韓國京城博覽會褒狀受領
滋養強壯人參飴
世界第一等の滋養品
牛乳鷄卵に優る效數倍
元祖發賣元　京城本町二丁目　井口順生堂藥房
本品は滋養劑として東洋第一と稱せらるゝ朝鮮人參を以て精製したる物にて朝鮮唯一の御土產品なり
本品は殊に夏季の强壯劑として頗る適切有効なるを以て何卒一度御試用の上御好評を仰ぐ
◎特約販賣店は京城、釜山、仁川平壤、開城、龍山、鎭南浦、元山及各地有名藥店雜貨店に於てす最寄にて御買求を乞ふ
京城本町二丁目（電話一九九番）
井口大藥房
京城大賣店
亀屋（本支）店
青木堂

增築御披露
京城南大門通三丁目光宣門側（電話一三八二番）
御待合　紅葉
四方粹客樣方の御引立に預り手狹を感じ往々折角の御運びを御斷り申候等不本意千萬に有之候に付今般改築間數も增加殊に浴室の設備も致し何時にても用意罷在申候間不相變御拒駕の程奉希上候

無比勉强
かや　わた
關戶蚊帳株式會社韓國代理店
吳服太物
洋反蒲團
調進
京城明治町一丁目
唐川商店
電話二六一番
新案特許製綿韓國一手特約店

高等旅館
平壤大和町
浪花館
電話一三四番

●京城市内の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

概略營業品目
和洋帳簿諸紙類
文房具學校用品類
卷紙封筒手帳類
帽子洋傘クッ鞄
洋服附屬品一式
メリヤス類一式
毛布膝掛馬車掛
石鹼香水齒磨類
タオル、ハンカチフ
手袋沓下袋物類
正札一引なし
官衙、陸軍、銀行、會社御用達
京城本町四丁目
池田長兵衛
電話二百〇六番
和洋雜貨御小賣商

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

紙と印刷
諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
諸官衙御用
播本（ハリモト）商店
京城本町六丁目
電話百拾番

諸官衙御用
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
委託販賣
東京ランパード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山韓國合資會社京城特約
本社　京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所　東京京橋南鍋町一丁目十番地電話新橋三六九二

和洋農具並ニ養蠶具器械一式
純良農產種子養成販賣○果樹、山林、庭園用苗木
觀賞用植物苗木類、肥料
京城東大門外纛島
興國農園種苗養成所
諸官衙御用達
京城本町一丁目六十五番戶
三輪商會
電話三八六番

明治廿年七月創立
伊井吳服店　本町四　山口吳服店電話九番
資本金一千萬圓●
東京火災海上運送保險株式會社
事務所　京城南大門通二　電話一〇六〇番

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りん病よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せんき腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を併用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席
鐵冷温泉
電話千四百十一番

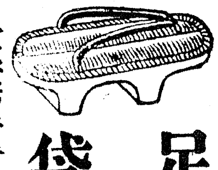
特約販賣自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）
ビール新茶大賣出し

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州、
韓國銀行
爲替取引先
日本　東京、京都、大阪、横濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、松山、廣島、長崎、
韓國　公州、光州、晋州、全州、開城、海州、沙利院、博川、
清國　義州、咸興、
其他　大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、
　　　漢口、上海、
外國　香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、



六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の
一張二十五錢

東京足袋
本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升



銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金　參百萬圓
積立及繰越金　九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店
（電話四二〇）
韓國　本店　長崎市濱町
日本　支店出張所
京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金
一口壹錢以上何程にても御預り申候
（利息日步壹錢二厘）
長崎貯蓄銀行代理店
（十八銀行京城支店）

京城曙町（電話二八七番）
統監府御用
宮内府御用
軸物表裝
金襖屛風
額面襖張
壁張天井張
石川表具店

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八
資本金五百萬圓
頭取　安田善三郎
爲替取組先
畿内　大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉、茨木、下市
東海道　東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、宇田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道　彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎
北陸道　小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道　宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道　龍野、姬路、西大寺、笠岡、尙道、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、綱干、牛窓、味野、岩見、岡山
南海道　申本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、若松
西海道　直方、飯塚、博多、福岡、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、
北海道　函館、小樽、札幌
台灣　臺北、臺南、
清韓國　仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候